

西郷小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「ふるさと西郷に自信と誇りをもつ」を活動テーマとして、ESDを「人」「もの」「こと」との「関わり」「つながり」を尊重する子どもを育むことと捉え、「人」「もの」「こと」と自分とのつながりを感じ、すすんでかかわる態度の育成を目標とした。
- ・具体的には、食、自然、国際理解を柱に、①食農にかかわる学習、②自然にかかわる活動、③国際理解にかかわる学習を行った。

・活動の実際

① 食農にかかわる活動（3年生）

校区には広大な柿畑があり、百年以上前から栽培されている。毎年全学年が柿の摘果や収穫体験を行い、郷土の宝「次郎柿」への愛着を深めている。3年生は総合的な学習で、校区のJA青年部の方に柿作りについて教えていただいた。そして、実際に栽培して、柿作りの大変さや収穫の喜びを実感した。「西郷の柿のよさを広めたい」という願いをもった子どもたちは、市内の朝市に出向き、販売した。お客さんとの交流を通して柿の魅力を再認識し、柿は地域の自慢であり誇りであるとの思いを高めた。



柿の収穫体験



柿の販売

② 自然にかかわる活動（4年生）

校区にある吉祥山（標高382m）登山に、毎年4年生が挑戦している。吉祥山は、古くから地元の人々の生活に利用され親しまれてきた山で、豊かな自然が残されている。吉祥山のボランティアの会の方に吉祥山の自然について教えていただいたり、清掃活動をしたりした。吉祥山に生息する生物の観察をし、ふるさとの自然に囲まれて1日を過ごした。そのよさを体感することで、自然のすばらしさや守っていくことの大切さを学んだ。



吉祥山での清掃活動

③ 国際理解にかかわる学習（5年生）

本校には、1927年に日米友好の親善大使として贈られた青い目の人形「コネタ」が現存する。「コネタ」は、その愛らしさから子どもたちに人気である。毎年「コネタ集会」を行い、3年に1度講師を迎えて「コネタ物語」の講演を聴いている。

5年生は、総合的な学習で「コネタ」についての学習もしている。「コネタ物語」について全校児童にわかるようにまとめを作成し、観劇会「青い目の人形」の前に発表をした。戦争中も守り続けられた「コネタ」の尊さを理解するとともに、「コネタ」を平和のシンボルと捉え、平和と友情の大切さを考えた。



青い目の人形「コネタ」